

ことわざ珍道記―「選ばれし者」???のボストン、NYC 珍道記―

清水 泰生

「選ばれし者が走る」ボストンマラソンの参加資格を取ったのと NYC で研究発表とハーバード大学の図書館で献本したいと思い、2018年4月中旬 NYC とボストンに行った。

2018年4月、東京マラソンの前と比べてスピードの切れも戻りつつあった。研究発表の準備が今一つなので、マラソンの調整より、そちらに力を注いだ。そして今回の旅で、鮮明な写真を撮ろうと思い、タブレット型の PC ミニパソコンを1万円を買った。これは大当たり。鮮明な写真が撮れたと思う。そして、今回の旅は、ネット環境に不安があったので、レンタルでポケット WiFi を借りた。期待通りで、通信が自由にでき助かった。しかし、一方 26000 円を買った 52 か国語を翻訳できる「ポケトーク」が全く使えなかった。「猫に小判」「無用の長物」になってしまい残念。このことについては別のところで述べてみたいと思う。

さて、本題。2018年4月12日夕方に家を出発、関空からまずは、韓国金浦空港に向かった。金浦空港には21時50分に着く、受諾荷物を受け取って入国手続きを済ませ、韓国へ入国。ニューヨーク便は仁川空港からなので地下鉄で移動、翌日13日0時30分ごろ仁川空港に到着。10時5分のフライトまで空港のソファで寝ることに…。空港の中は快適だったので寝ることができた。今回も安い航空券が取れたので（往復8万2000円）助かった。

そして13日10時5分仁川空港を經って NY へ。現地時間11時にジョンケネディー空港についた。入国審査場にかなり人がいて入国手続きが完了したのは14時頃であった。その後、地下鉄でゲストハウスへ。15時30分ごろ到着した。ゲストハウスの周りはミニコンビニがあって、比較的多くのものを安く購入できる。私はそこで夕食のパンを買った。そして、次の日14日の研究発表のワグナー大学の場所を確認。口頭発表の最終準備を済ませその日は終わった。NYC は大阪と同じくらいの気温（20℃くらい）かなと思った。

翌日の14日、スタッテン島にあるワグナー大学へ。地下鉄の切符を改札機を通して改札を出ようとしたら、うまくいかなかった。そこへ日本人らしき人に教えてもらって改札を通ることができた。どうも日本人らしい様子だったので日本語で話をするとやはり日本人だった。そして、その人が子供に日本語を教えていることが分かりびっくり。その人も途中まで同じ路線（A線）なので途中まで一緒に…。そして、別れる際にメールを交換した。地下鉄A線終点 SouthFerry 駅に着いた。そこからスタッテン島へは無料のフェリーが出ている。私は、それに乗った。天気が良かったので自由の女神が見える。いい風景だった。そこで、今回のために買ったタブレットのミニ PC で写真を撮った。フェリーからヴェラザノ=ナローズ・ブリッジが見えた。11月の NYC マラソンのスタート地点である。「11月のマラソン、ここからスタートするのか」と思った。スタッテン島に着き、大学行きのスクールバスを探したが見つからず、うろろう。いろいろな人に聞いてやっと見つけた。スクールバスというよりミニタク

シーみたいであった。バスに乗って大学へ、受付を済ませ、そして12時に研究発表。内容は、「日本人はなぜ駅伝やマラソンが好きなのか」という発表であった。発表も終わり昼食。大会の関係者の人達と食事を撮った。午後の発表も聴いた。16時30分ごろ会議が終わり、バスのある所へ歩いていく。キャンパスは広々していて、しかも晴天。そして、あたたかい。うきうきした気分でスクールバスの停留所へ。そして、スクールバスで、フェリー乗り場へ船に乗ってマンハッタンへ、そして地下鉄で86番駅へ。87番街のゲストハウスに戻り、その日は終わった。いよいよ明日はボストンだ。

そして15日、昨日までの天気とはうってかわって気温は10℃以下で曇り。8時10分のバスに乗るために6時30分に宿舎を出る。地下鉄7番線の終点で降りて、歩いてバスの停留所に到着。しかし、そこでバスの運行のキャンセルをきき啞然。「青天の霹靂」とはこういうことかと思った。どうしようかと思っていたところへ偶然中国人男性ランナーとその家族に出会った。彼は何と日本語を勉強している人でありNYCで仕事している娘さんと上海で住んでいる奥さんと一緒だった。彼はボストンマラソンに出場する。娘さんのアドバスで彼とその家族と一緒にバス(9時40分発)が取れ、バス出発まで一緒に停留場の近くの喫茶店で話をした。まさしくは「渡りに船」であった。定刻通りバスが出発して、ボストンのサウスステーションに14時に到着。ボストンは気温が5度くらいで猛烈に寒い。中国人ランナーと一緒にゼッケン交換の会場に行くが、会場入ってから別々になるので、会場に入る前に連絡先を交換して別れた。ナンバーカードをもらってパーティー会場に行こうと思ったが、荷物を会場に持っていけないようなので、出席するのをあきらめ宿舎に向かった。宿舎に向かうときに雨が降ってきた。宿舎に着いて食事をとったが、麺類の店がない。ようやく、店を探してラーメンみたいな麺の食事をとったが、おなかを壊してしまった。カーボローディングができない。明日のボストンマラソン完走できるかなあと不安が残った。早めに睡眠にしたが、寝ているときに足がつりそうになりさらに不安になった。

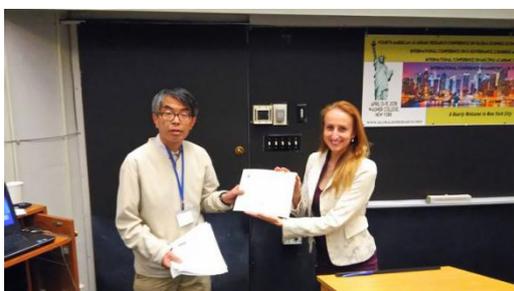
そして当日(16日)、ものすごい雨、風、寒さ。タイムは無理なので完走を目標にかえた。何とか3時間49分で完走。あまりにも寒さに完走パーティーに出ずに宿舎でのんびりとレースの余韻に浸った。

そして次の日(17日)、ハーバード大学、ボストン大学へ。ハーバードは2013年5月以来である。その日は、昨日とはうってかわって晴天、しかし気温が10℃もなく肌寒かった。宿舎がハーバード大学に比較的近いので歩いてハーバード大学へ。昨日のマラソンで足をあまり使わなかったのが難なく歩けた。30分ほど歩いたらキャンパスに着いた。そしてハーバード大学のイエンチン図書館へ。イエンチン図書館は東アジア研究において世界屈指の図書館であった。図書館の日本研究の関係者と本の献本とそれ以外の本のことで会談。そのあと、日本語研究棟へ行き、事務の人にことわざの本を献本。事務の人にハーバードで、おいしい所を教えてもらい、そこに行く。そこは、ロックフェラーフォールという建物であってその中にカフェテリアがあった。そこに入ってみると家族づれで食事をとっているのを見かけた。図書館、カフェテリアとも気楽に入れそうであり、思ったイメージと違っていた。(図書館は基本的にはハーバード関係

者しか入れないことを後で知った)そこで食事をとったが少し高かった。ジャガイも等で炒めたものとショートケーキぐらいの大きさのピザみたいなもので日本円で800円くらい。食事の後、ハーバード大学グッズのある店でお土産のハーバードボールペンを買ひ、それから地下鉄でボストン大学へ。ボストン大学で日本語の先生と先生の研究室で15時に待ち合わせ、研究室で少し話をした後、その日本語の先生が授業をしている間、村上春樹研究で有名な先生の研究室で、その先生と院生と話をした。そこへ日本語の副学科長?の先生があいさつに来た。「ボストンマラソンはどうでしたか」ときかれ、私は、完走報告とメダルを見せた。

授業を終えた日本語の先生と夕食をして、そのあと、夜行バスのバスターミナル(サウスステーションバスターミナル)へ。そこは、十分時間が潰せるところであって助かった。翌朝(18日)深夜1時発のバスでNYCへ5時30分ごろNYCのバスステーションに着いた。バスステーションの食堂で食事を取って空港へ。ジョンケネディー13時発の飛行機に乗って仁川空港で乗り換え関西空港へ19日の21時20分ごろ関西空港に着き、私の旅行は終わった。関西空港は24℃であった。

今回、気温の差が激しいのには参った。それと13時間の時差も。体の調子を戻すのに1週間かかった。アクシデントもあったが何とか解決。思わぬ出会いがあった。(マラソンで、研究発表で)選ばれし者???がした旅は、「災い転じて福となす」「終わりよければすべて良し」と思えるような旅であった。



左上の写真、研究発表にて



右上の写真、ハーバードイェンチン図書館



左上の写真 船から自由の女神



右上の写真 ボストンマラソン

*国際会議(AAR18New York Wagner College Conference)のHP

(URL) http://globalbizresearch.org/NewYork_Conference_2018_April3/

